

公開フォーラム

伝統的木造住宅はどこにむかうか

—省エネルギー基準義務化を見据えて—



Contents

挨拶

吉野 博

主旨説明

中村 勉

基調講演

宿谷 昌則

「省エクスルギーは放調から」

事例報告

赤嶺 嘉彦、篠 節子

「伝統的木造住宅の省エネ・温熱調査報告」

発表・パネルディスカッション

鈴木 大隆

「住宅省エネルギー基準の考え方」

安藤 邦廣

「伝統的板倉構法の設計」

松井 郁夫

「伝統的「き」組の設計」

綾部 孝司

「伝統的土壁構法の設計施工」

宿谷 昌則、篠 節子

モデレーター 中村 勉

まとめ

小玉 祐一郎

Information

日時

2014年12月13日(土)
13:30~17:00

場所

建築会館ホール

(〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20)

主催

公益社団法人 日本建築士会連合会

公益社団法人 日本建築家協会

一般社団法人 日本建築学会

一般社団法人 東京建築士会

特定非営利活動法人 木の建築フォーラム

後援

これからの木造住宅を考える連絡会

公益社団法人 日本左官会議

一般社団法人 日本ログハウス協会

一般社団法人 日本左官業組合連合会

特定非営利活動法人 日本伝統建築技術保存会

特定非営利活動法人 日本民家再生協会

住まいと環境 東北フォーラム

当フォーラムは、公益財団法人建築技術教育普及センターの
普及事業助成を受けて実施するものです。

【問合先・申込先】

公益社団法人 日本建築士会連合会

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館 5階

TEL: 03-3456-2061 FAX: 03-3456-2067 MAIL: jigyoy1@kenchikushikai.or.jp

今般決定された国の新たなエネルギー基本計画において、2020年までに段階的に省エネルギー基準の適合を義務化するとされたところであり、住宅における省エネルギー性能の向上に拍車がかかることになる。省エネルギー基準は元来高気密・高断熱住宅をベースに形作られており、我が国の伝統的木造住宅、さらには広く地域で継承されてきた木造住宅に対してその適用に問題が多く、多くの実務者が今後の展開に強い危機意識を持っている。

本年3月15日に公開フォーラム「伝統的木造住宅と省エネルギー」を開催したところ、予想を上回る300名を超える参加者を得て、本テーマについて意識の高さが示された。そこで今回は前回十分ではなかった個別の課題を個々の住宅実施例において深めながら、木造住宅の省エネルギーに対する知識の深化、意識の向上をはかることを目的とする。

吉野 博 日本建築学会会長

1971年東京大学大学院工学研究科進級後、1974年東京大学生産技術研究所助手、1978年東北大学工学部建築学科助教授、1992年に教授昇進、2012年退職。建築環境工学を専門とし、日本建築学会、空気調和・衛生工学会、などの学会に所属

中村 勉 東京建築士会会長 建築家

1969年東京大学建築学科卒業。横総合計画事務所、AUR コンサルタントを経て中村勉総合計画事務所を主宰。ものづくり大学名誉教授。環境問題への啓蒙、地域の活力を育てる活動とともに、環境建築の研究と政策提言を行っている

宿谷 昌則 東京都市大学 環境学部 教授

専門は建築環境学。在るべき建築環境システムについて熱力学・人間生物学の視点からの研究、その成果に基づく住環境教育に携わっている。2001年日本建築学会論文賞、2012年日本建築学会教育賞 受賞

赤嶺 嘉彦 国土技術政策総合研究所 住宅研究部 主任研究官

2006年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程修了後、2011年まで同特任助教授。2011年独立行政法人建築研究所、2013年国土交通省国土技術政策総合研究所、現在に至る。温熱環境、省エネの研究を実施

篠 節子 篠計画工房 建築家

日本女子大学住居学科卒業。アルセッド建築研究所在職後、2009年に篠計画工房を開設。設計活動と共に持続可能なまちづくり・住まいなどの活動や、次世代に継承する伝統的工法住宅の温熱、省エネ性能の調査研究活動に携わっている

鈴木 大隆 北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所 副所長

エネルギー・耐久性・室内環境の質の向上の面からエンベロープデザインに関する研究を行うかたわら、北総研庁舎、学校建築、住宅などの環境設計にも多数参加。1992年より、国の住宅省エネ基準・施策検討に参加

安藤 邦廣 筑波大学名誉教授 建築家

里山建築研究所主宰、NPO 木の建築フォーラム代表理事、(社)日本茅葺き文化協会代表理事。1948年宮城県生まれ、九州芸術工科大学芸術工学部環境設計学科卒業、東京大学助手、筑波大学教授を経て2013年より現職

松井 郁夫 ワークショップ「き」組代表理事 建築家

1979年東京芸術大学大学院美術研究科修了・環境造形デザイン専攻、株式会社 松井郁夫建築設計事務所主宰、国土交通省伝統的工法の設計法作成および性能検証実験検討委員、木の建築フォーラム理事

綾部 孝司 綾部工務店 大工棟梁

1989年東洋大学工学部建築学科卒業後、建築企画設計会社及び建築設計事務所を経て、1996年家業である綾部工務店にて大工となる。伝統的木組み土壁の家づくりを中心に設計から施工迄一貫して行っている

小玉 祐一郎 建築家・神戸芸術工科大学教授

1966年東京工業大学卒。同助手、建設省建築研究所勤務を経て現職。エステック計画研究所主宰。建築や都市のパスシブデザイン、サステイナブルデザインの研究開発とその実践に従事



公開フォーラム参加申込書

FAX : 03-3456-2067

ふりがな		年齢	
氏名		性別	男 / 女
連絡先 (自宅・勤務先)	勤務先名・学校名		
	住所		

TEL : _____ FAX : _____ E-mail : _____

・連絡方法 : 電話 FAX E-mail

・職業 : 設計者 施工者 行政 その他 () 伝木関係者 はい いいえ

・CPD 単位 : 希望する 希望しない (CPD 番号又は建築士登録番号 :)

・所属団体 : 日本建築学会 建築士会 日本建築家協会 木の建築フォーラム その他 ()

・料金 : 参加費：1,000円 資料：1,000円 懇親会費：3,000円

※申込書を2014年11月末までに日本建築士会連合会宛に FAX もしくはメールで送信お願いいたします。
申込書の受領後、事務局より受付のご連絡を差し上げます。その後、下記振込先へ会費をお振込願います。

振込先：三井住友銀行三田通(みたどおり)支店 振込金額 円
当座 5098339 公益社団法人 日本建築士会連合会 シヤ) ニホンケンチクシカイレンゴウカイ